



発見×創造
もうひとつの秋田

旅文化を
楽しむ
男鹿市

第29回 国民文化祭・あきた2014

(秋田県男鹿市真山地区)
男鹿のナマハゲ

(岩手県大船渡市)
吉浜のスネカ

(山形県遊佐町)
遊佐のアマハゲ

(秋田県湯上市)
湯上のナマハゲ

(石川県輪島市)
能登のアマメハギ

(鹿児島県薩摩川内市)
甕島のトシドン

(秋田県能代市)
能代のナゴメハギ

ナマハゲの 祭典

正月の来訪神
その伝統を探る

2014
10/4土

10:00-15:15

男鹿市民文化会館

展示 2014
10/4日・10/5日 9:00-16:00

午前の部 10:00~11:45

■ オープニング

・なまはげ踊り
真山なまはげ伝承会

■ 記念講演

～男鹿のナマハゲと日本、世界～
講師：文化庁伝統文化課民俗文化財部門
石垣 悟氏

■ 講演

ユネスコ無形文化遺産
「甕島のトシドン」の保存と伝承
講師：甕島のトシドン保存会

午後の部 12:30~15:15

■ 浅利香津代の朗読

■ 実演

・能登のアマメハギ / 石川県輪島市
・遊佐のアマハゲ / 山形県遊佐町
・吉浜のスネカ / 岩手県大船渡市

■ 「男鹿のナマハゲ」紹介

■ アトラクション

なまはげ太鼓 / 秋田県立男鹿海洋高校

浅利香津代の朗読 / 12:30~13:10

『男鹿を愛した菅江真澄とナマハゲ』



江戸期三河国の紀行家菅江真澄がナマハゲ行事を最初に記録した！旅人真澄が見たナマハゲを、秋田出身の女優浅利香津代の朗読で再現！200年前の男鹿の風土と人びとの姿が今によみがえる！

■ 実演

・能代のナゴメハギ / 秋田県能代市
・湯上のナマハゲ / 秋田県湯上市
・男鹿のナマハゲ / 秋田県男鹿市真山地区
解説：鎌田幸男氏・石垣 悟氏

■ フィナーレ

ナマハゲ大集合



■ 会場：男鹿市民文化会館 TEL 0185-23-2251

■ 問い合わせ：第29回国民文化祭 男鹿市実行委員会事務局（男鹿市教育委員会生涯学習課）
TEL 0185-24-9200



携帯版
ウェブサイ
ト

全日本 ナマハゲの祭典

2014
10/4(土) 10:00-15:15
景 9:00-16:00

入場者にはもれなく
男鹿半島 湯上オホノボリ
オツヨナリでめくいと
男鹿の塩
プレゼント!!



午前のお節

オープニング / 10:00~10:15
なまはげ踊り / 真山なまはげ伝承会

記念講演 / 10:30~11:15
~男鹿のナマハゲと日本、世界~
講師: 文化庁伝統文化課民俗文化財部門 / 石垣 悟氏

講演 / 11:15~11:45
ユネスコ無形文化遺産「甌島のトシドン」の保存と伝承
講師: 甌島のトシドン保存会

午後のお節

浅利香津代の朗読 / 12:30~13:10
「男鹿を愛した菅江真澄とナマハゲ」

実演 / 13:10~14:00
・能登のアマメハギ / 石川県輪島市
・遊佐のアマハゲ / 山形県遊佐町
・吉浜のスネカ / 岩手県大船渡市

「男鹿のナマハゲ」紹介 / 14:00~14:10

アトラクション / 14:10~14:20
なまはげ太鼓 / 秋田県立男鹿海洋高校

実演 / 14:20~15:10
・能代のナゴメハギ / 秋田県能代市
・湯上のナマハゲ / 秋田県湯上市
・男鹿のナマハゲ / 秋田県男鹿市真山地区
解説: 鎌田幸男氏・石垣 悟氏

フィナーレ / 15:10~15:15

2014
10/5(日) 景 9:00-16:00

※10月5日は展示のみ開催



① 甌島のトシドン / 鹿児島県 (S52 国指定)

H21ユネスコ無形文化遺産。薩摩川内市の下甌島に伝わる大晦日の夜に行なわれる行事です。古い装いにシュロ等を身に纏いトシドンに扮した者が、子どものいる家を訪れてトシモチを与えて去っていきます。

全国的に分布する来訪神行事のなかでも、古くから子弟教育や農耕儀式として口承されてきた重要な行事です。

② 能登のアマメハギ / 石川県 (S54 国指定)

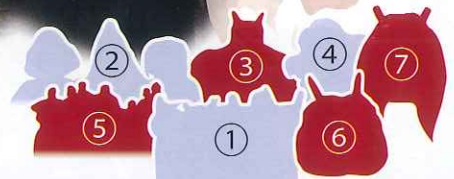
「アマメハギ」とは、昔の火燵や囲炉裏など炭火に長く当たるとできるアマメ(火斑)をハギとりにくる者のごとです。

子ども達に寒くとも、囲炉裏などで暖をとってばかりいないで家の仕事を手伝う様に「しつけ」の一環として行われてきた行事です。

輪島市皆月では、「アマメ様ござった。」の声で、家を訪問し神棚の前に正座し天狗面が神棚を被い、その家の子どものいる居間まで入り子どものまわりで「家事を手伝うよう」諭しました。家の主人が「餅を三つ」差し出すことを合図に子どもを諭すのをやめて、次の家にむかいました。

③ 遊佐のアマハゲ / 山形県 (遊佐の小正月行事 H11 国指定)

遊佐町北部の女鹿・滝ノ浦・鳥崎に伝わる民俗行事です。ケンダンを身にまとい、鬼や翁の面をつけた若者が、正月に各戸をまわって子どもの怠け心を戒めたり、お年寄りの長寿を願う行事です。3集落に伝わるアマハゲは、類似している点もみられますが、面の表情や家での振る舞いなど、集落ごとに特徴があります。平成11年に「鳥追い」「ホンデ焼き」など正月に行う一連の行事と共に、「遊佐の小正月行事」として、国の重要無形民俗文化財に指定されました。



④ 吉浜のスネカ / 岩手県 (H16 国指定)

岩手県大船渡市三陸町の吉浜地区に伝わる来訪神の風習で、奇怪な面に糞糞などをまとったスネカと呼ばれる異装の者が、子どもの健やかな成長と五穀豊穡・豊漁を願い、小正月の夜に家々をまわります。

スネカの由来は、囲炉裏のそばで怠けている者の脛にできるヒガタ(火斑)を剥ぐことを表す、スネカワタグリ(脛皮たぐり)と言われていました。

⑤ 能代のナゴメハギ / 秋田県 (S56 国記録)

年の折り目に神が来臨し、人々に祝福を与えその年の厄を被い、新年を清らかに迎える行事です。かつては小正月に行われていましたが、昭和20年代から12月31日の大晦日の行事となりました。地域によって多少異なりますが、いずれも各集落の若者たちが、様々なお面と糞糞をつけて神に扮し、鈴や拍子木を打ち鳴らすなどして家々を訪れます。

⑥ 湯上のナマハゲ / 秋田県 (H12 市指定)

⑦ 男鹿のナマハゲ / 秋田県 (S53 国指定)

大晦日の晩、男鹿半島のほぼ全域で行われます。地区ごとに異なる面や衣装をつけた若者がナマハゲとなり、家々をまわります。主人は古くからのしきたりでナマハゲをもてなします。年の折り目に災いを被い、豊作、豊漁、吉事をもたらす来訪神の行事です。



10/4
朗読

「男鹿を愛した菅江真澄とナマハゲ」

江戸期三河国の紀行家菅江真澄が生涯で一番長い時期を旅した秋田。特に男鹿の地を愛し、何度も足を運び「男鹿五風」と呼ばれる5冊の旅日記を書き著し、日記には盆踊りに興ずる老若男女、ハタハタ漁の様子、五社堂の鬼伝説、年越しの夜のナマハゲ行事などが綴られている。この旅人真澄が記録した男鹿の風土と人びとの暮らし、ナマハゲ行事を中心に秋田出身の女優浅利香津代が朗読で再現！200年前のナマハゲの姿が、時を越えて今によみがえる！

・脚本: 永井 登志樹
・監修と資料協力: 松山 修 (秋田県立博物館学芸主事)



空路

秋田空港→リムジンバス→秋田駅→男鹿駅

- 東京(羽田)→秋田 65分 ANA JAL
- 大阪(関西)→秋田 90分 JAL
- 大阪(伊丹)→秋田 80分 JAL
- 名古屋→秋田 70分 JAL
- 名古屋→秋田 85分 ANA
- 札幌→秋田 55分 JAL



鉄道

男鹿駅から徒歩 15分

東北新幹線(盛岡) 秋田新幹線こまち

●東京→秋田 約4時間

JR 男鹿線

●秋田→男鹿 約1時間



道路

秋田南IC - 昭和・男鹿半島IC 25.8km

●昭和・男鹿半島ICから 25分



アクセスマップ

